

| 対応製品レベル | カテゴリ | 現象/内容 | 変更内容 | 影響範囲 | 従来製品での回避/対応方法 | 備考 |
|---------|-------------------|---|------------------------------|---------------------------------|--|------------------------------------|
| 5.0a | システムリカバリ機能 | システムリカバリサーバとシステムリカバリクライアントを共存させているとき、システムリカバリサーバをアンインストールするとシステムリカバリクライアントに必要なレジストリキーまで削除してしまう。 | プログラムを改修しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel.5.0 | システムリカバリサーバとシステムリカバリクライアントは同一コンピュータにインストールしないでください。 | |
| | システムリカバリ機能 | システムリカバリ管理機能で、以下の手順でサービスを作成すると「サービスの作成に失敗しました」のメッセージがでる。 1) 通常通りにSROサーバをインストール 2) SRO管理機能で任意のサービスを作る。(例:test) 3) SROサーバをアンインストールする。この時「管理DBを削除する」にチェックを入れた状態。 4) SROサーバを再インストールする。 5) SRO管理機能を起動して同じサービス名で再度「test」を登録しようとする。 | プログラムを改修しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel.5.0 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | Linuxの環境設定に置いて固定IP設定かつDNSアドレスが未設定の場合にエラーとなって設定できない。 | プログラムを改修しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel.5.0 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | FMV-D5110にマルチキャスト配信を行った場合、配信速度が遅い場合がある。 | プログラムを改修しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel.5.0 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | システムリカバリの後処理のユーザ指定処理の際、登録したバッチやコマンドが0を返さない場合に、エラーを無視して正常と判定するチェックボックスを追加した。 | プログラムを改修しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel.5.0 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | 「」を先頭に利用するサービス名を指定すると、エラーとなる。 | 「」を先頭に指定できないようにプログラムを改修しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel.5.0 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | 以下の条件において、サービスの編集やサービスのプロパティを行うと、ユーザ指定処理のバッチ名や、サイレントインストールのパス名が空白で表示されてしまう。 (1)1台のシステムリカバリサーバを複数のシステムリカバリ管理機能で運用している場合に、サービスを作成していない管理機能から、サービスの編集を行った場合 または (2)管理機能をバージョンアップ、または、レベルアップし、レベルアップ前に作成した既存のスケジュールを編集した際 | プログラムを改修しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel.5.0 | なし | UIの初期表示が壊れるだけで、既存サービスの動作には問題ありません。 |
| | システムリカバリ機能 | システムリカバリクライアント機能において、システム的环境変数(%TEMP%)を変更した場合、正常に動作しない。 | プログラムを改修しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel.5.0 | システム的环境変数を変更しないようにしてください。 | |
| | システムリカバリ機能 | ドメイン参加用のユーザ名指定において、パスワードの文字数制限が14文字となっている。しかし、Windows2000以降のユーザアカウントはパスワードに14文字以上指定することが可能なので、14文字という制限を解除して欲しい。 | プログラムを改修しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel.5.0 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | 瞬快R4.0/R5.0のシステムリカバリ機能において、イメージ取得を行ったヒナ型クライアントが固定IPアドレスでの運用の場合、イメージ配信時にそのヒナ型クライアントも配信対象に含めてイメージ配信した場合、IPアドレスの衝突が起こり、正しくイメージ配信(正確にはイメージ配信処理後の後処理)が行われない。 | プログラムを改修しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel.5.0 | ヒナ型クライアントを配信対象に含めないようにしてください。 | |
| | WindowsUpdate連携機能 | システムリカバリ機能で利用するひな型コンピュータに対して、ひな形作成前にWSUSでの動作実績がある場合、そのひな型を配信したクライアントは、WSUSの管理コンソールからクライアントPCの制御が出来なくなる。(全てのクライアントPCが一台として認識されます) | プログラムを改修しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel.5.0 | システムリカバリ機能で利用するひな型に対して、事前にWSUSを利用したバッチ適用はしないようにしてください。 | |
| | WindowsUpdate連携機能 | Windows Update管理機能の新規スケジュール作成処理で、以前設定した詳細設定内容を保持するように修正しました。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0 | なし | |
| | ウイルス対策ソフト連携 | SymantecAntiVirus CorporateEdition10.1との連携に対応しました。 | 設定を見直しました。 | ALL Rel.5.0 | なし | |
| | 管理機能 | 複数のクライアントを選択し、「クライアントPCの環境設定」を実行した場合、「リモートログオンタスクの取得に失敗しました。」が表示される場合がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0 | 電源オフのクライアントPCを除外して選択すれば現象は発生しません。 | |
| | 管理機能 | 管理機能で最新の情報に更新を実行すると、まれにクライアントの機能が「プロトコルエラー」と表示され、以降そのクライアントを操作できなくなる。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0 | なし | |
| | 管理機能 | 管理機能からクライアントの電源オフを行った場合、電源が落ちずに「電源を切る準備ができました」のメッセージが表示される場合がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0 | なし | |
| | 管理機能 | 瞬快管理機能を起動する際、サーバ名に17文字以上のサーバ名を指定する。その管理機能をアンインストールしようとする、エラーが発生する。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0 | なし | |

瞬快Rel5.0系 対応内容一覧

| 対応製品レベル | カテゴリ | 現象/内容 | 変更内容 | 影響範囲 | 従来製品での回避/対応方法 | 備考 |
|---------|----------|--|---------------|------------------------------|---|---|
| | クライアント機能 | ChemOfficeがインストールされている環境下で以下の操作を行うと、「Microsoft SQL Server Desktop Engine(以下MSDE)」のセットアップインストーラが起動してしまう。 ・イメージ配信後の後処理での瞬快クライアントサイレントインストール ・瞬快クライアントのアンインストール | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0 | Microsoft社のサイトを参照してください。(参照URL:http://support.microsoft.com/?kbid=889289) | |
| | クライアント機能 | ランチャーアイコンを右ダブルクリックすると、「SKE00023 テンポラリファイルの書き出しに失敗しました」のメッセージが表示される。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0 | OKボタンを押下し、そのまま処理を継続して問題ありません。 | |
| | クライアント機能 | Linuxのマルチブート構成時において、Rel3.5およびRel4.0からRel.5.0にバージョンアップする場合、Windows側の瞬快をバージョンアップするとLinux側のモジュールがリモートからバージョンアップできなくなる。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0 | Linuxクライアントにてバージョンアップしてください。 | |
| | 瞬間復元ドライバ | エプソン 社製エンデバーAT9551において、瞬間復元ドライバを修復モードからバックアップモードに変更すると、変更後OSが再起動を繰り返す場合がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0 | OS起動時にPageUpキーを押下し、簡易環境設定メニュー画面を表示し、「キャンセル」を選択してください。 | |
| | 瞬間復元ドライバ | エクスプローラにおいて、修復対象のディレクトリ内のファイルをコピー、またはリネームした時、コピーで作成されたファイル、またはリネームしたファイルのプロパティ情報が欠落する。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0 ファイルフォルダ単位 | なし | |
| | 瞬間復元ドライバ | Ulead社の「DVD MovieWriter 4」にてビデオデータをキャプチャし、「キャプチャ終了」ボタンを押すと、「キャプチャ失敗、キャプチャしたファイルが壊れている可能性があるので削除する」と表示され、キャプチャできない。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0 ファイルフォルダ単位 | なし | |
| | 瞬間復元ドライバ | 修復対象となっているファイルを編集する場合、エクスプローラでそのファイル一覧を参照してもファイルサイズ、タイムスタンプの変更結果が即時反映されない。 〔最新の情報に更新〕を実施することで反映される | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0 ファイルフォルダ単位 | 「最新の情報に更新」を実施してください。 | |
| | 瞬間復元ドライバ | 一般ユーザ権限で、フリーソフトのLHAPlusにてファイル圧縮を実行すると、エラーとなり圧縮できない。 (管理者権限ユーザの場合は問題なく圧縮される) | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0 ファイルフォルダ単位 | 管理者権限ユーザにてLhaplusを利用してください。 | |
| | 瞬間復元ドライバ | 瞬快クライアント機能を修復無効モードでインストールされている環境をイメージ取得し、ディスクイメージの配信を行う。配信後、クライアントPCを起動し、ログオンするとスタートアイコンが赤色で表示される場合がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0 | なし | |
| | 瞬間復元ドライバ | sophos antivirusがインストールされている環境において、瞬快のドライバが停止してしまう場合がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0 ファイルフォルダ単位 | なし | sophos antivirusと瞬快がウイルス対策ソフト連携しているわけではありません。 |
| | 瞬間復元ドライバ | MacromediaのFreeHandMXというソフトで一般ユーザ権限で、新規ファイル作成を行うとファイルの作成に失敗してしまう場合がある。(管理者権限ユーザでは問題なし) | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0 ファイルフォルダ単位 | 管理者権限ユーザにてFreeHandMXを利用してください。 | |
| | 瞬間復元ドライバ | 瞬快をファイル・フォルダ単位でインストールした後、修復対象内にEXEをコピーしてから、コピー先のEXEを実行すると、タスクマネージャにて表示されるプロセス名が、テンポラリファイル名(4aなど)になってしまう。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0 ファイルフォルダ単位 | なし | |
| | 資源配付機能 | 管理機能から資源配付タブを開き、配付指示を出した時、画面右下のフレームの「処理日時」列に表示される日時情報が、指示を出した日時ではなく資源を登録した日時になっている。 正しくは、配付の指示を出した日時が入るべきである。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0 | F5キーを押下し最新情報を取得しなおすと、正しい日時が表示されます。 | |
| | 資源配付機能 | 資源配付を行なうと、リモートログオンタイプがSKGINAからSiflogon1に変わってしまう | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0 | なし | |
| | 資源配付機能 | cygwinのインストールされた環境でアプリ登録を行うとアプリケーションエラーが発生することがある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0 | なし | |
| | リモート画面操作 | 以下の操作を行うと、画面左上の<ツールパネル>のリモート操作モードは【個別選択モード】が有効な状態になっているが、画面右側のリモート操作ウィンドウは【全台選択モード】になってしまう。 1.リモート管理機能を起動する 2.個別選択モードをクリックする 3.セッションを接続したままクライアントをシャットダウンする 4.その状態でクライアントを起動する。この間、リモート画面操作機能は起動したままの状態 5.<ツールパネル>-<接続>を選択し、再度セッションを接続する。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0 | なし | |
| | リモート画面操作 | 瞬快Rel.5.0のリモート画面操作機能と、類似サードパーティ社製品のリモート画面操作機能が同居した場合、Windows起動時にWinlogon.exeのアプリケーションエラーが発生しブルー画面になることがある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0 | なし | |
| | リモート画面操作 | リモート画面操作機能で1台だけモニタリングしている状態で「一覽表示画面」に移動し一度「モニタ停止」を実行すると、そのあと「モニタ開始」ができない。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0 | なし | |

| 対応製品レベル | カテゴリ | 現象/内容 | 変更内容 | 影響範囲 | 従来製品での回避/対応方法 | 備考 |
|---------|----------------------|--|---------------|---|--|--|
| | リモート画面操作 | リモート画面操作機能をインストールしているPC上にイベントログが不定期に発生している。 イベントID:262 ソース:PlugPlayManager 説明:サービス“SKBlackd”は電源イベント要求を拒否しました。 | プログラムを修正しました。 | ALL Rel.5.0 | なし | |
| 5.0b | クライアントインストーラ | 修復無効モードでクライアントを複数アップ・バージョンアップしても、モジュールが更新されない場合がある。 | プログラムを修正しました。 | ALL Rel.5.0a以前 | 更新モードにて版数アップ・バージョンアップしてください。 | 修復無効モードからのクライアント版数アップ・バージョンアップにおいて、再起動の回数が1回増加しています。 |
| | クライアントインストーラ | アンインストール時に、リモート画面操作関連のレジストリが残る。 | プログラムを修正しました。 | ALL Rel.5.0a以前 | なし | |
| 5.0d | ウイルス対策ソフト連携 | McAfee社Managed Total Protectionとの連携に対応しました。 | 設定を見直しました。 | ALL Rel.5.0a以前 | Managed Total Protectionアップデート前に、瞬快クライアントを修復無効モードに変更しておく、Managed Total Protectionアップデート後に修復モードに変更してください。 | |
| | ウイルス対策ソフト連携 | Microsoft Windows Defenderとの連携に対応しました。 | 設定を見直しました。 | ALL Rel.5.0b以前 | なし | |
| | クライアント機能 | 瞬快クライアントの環境設定画面を開き、設定変更をしないで環境設定画面を閉じたときに再起動が不要となるように修正しました。 | プログラムを修正しました。 | ALL Rel.5.0b以前 | なし | |
| | クライアントインストーラ | クライアントインストールのパスワード入力(最大8文字)に際し、ディスプレイ環境によってはパスワード入力フィールドが7文字までしか受け付けられないことがある。 | プログラムを修正しました。 | ALL Rel.5.0b以前 | なし | |
| | クライアントインストーラ | 資源配付用ユーザアカウントを指定するセクションで、ピリオドを含むアカウント名で実行すると「ピリオドとスペースだけのログオンIDは使用できません」の旨のエラーメッセージが表示される。 | プログラムを修正しました。 | ALL Rel.5.0b以前 | なし | |
| | クライアントインストーラ | クライアントをアンインストールするとき、クライアントをインストールしたフォルダに含まれるファイルフォルダが削除されてしまう。 | プログラムを修正しました。 | ALL Rel.5.0b以前 | なし | |
| | クライアントインストーラ | コンピュータ名、ドメイン名の禁則文字として「?」がチェックされていない。 | プログラムを修正しました。 | ALL Rel.5.0b以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライバ | HからPDFやモジュールなどのDownloadを行い、修復対象領域にファイルを保存すると、Zone.Identifierのファイルが作成されてしまう。 | プログラムを修正しました。 | ALL Rel.5.0b以前 | なし | ファイルフォルダ単位 |
| | 管理機能 | 瞬快管理機能でF5キーによる最新情報取得を行うと、SkConsole.exeがダンプファイルを出力してハングアップする場合がある。 | プログラムを修正しました。 | ALL Rel.5.0b以前 | なし | |
| | 管理機能 | Rel.5.0,Rel4.0c以降の管理機能から、瞬快Rel4.0c以降のクライアントのプロパティを表示した場合に修復対象/対象外の情報が表示できない。 | プログラムを修正しました。 | ALL Rel.5.0b以前 | なし | |
| | 管理機能 | 瞬快管理機能のリモートログオン機能において、リモートログオン、リモートログオフを繰り返している、クライアントがリモートログオンを受け付けなくなる場合がある。 | プログラムを修正しました。 | ALL Rel.5.0b以前 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | 瞬快管理機能を起動し、プロパティからMACアドレスを修正したり、IPアドレスを編集する際、その編集内容が次回システムリカバリ管理機能起動時まで反映されない。 | プログラムを修正しました。 | <input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.5.0b以前 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | FPDにて配信後のドメイン参加処理で「リブート命令を送信しました。ターゲットからのPXE要求を待っています」msgが出てタイムアウトになる。 | プログラムを修正しました。 | <input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.5.0b以前 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | システムリカバリ管理機能のサービス名の禁則文字として「?」がチェックされない。 | 画面を修正しました。 | <input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.5.0b以前 | システムリカバリ管理機能のサービス名には「?」を使わないで下さい。 | |
| | システムリカバリ機能 | srordwiz.exeの初期画面にあるシステムリカバリユーザ名の禁則文字チェックがされていない。 | プログラムを修正しました。 | <input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.5.0b以前 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | システムリカバリ機能では、サービス名を重複して登録できるパターンがある。 | プログラムを修正しました。 | <input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.5.0b以前 | サービス名は重複しないように登録してください。 | |
| | システムリカバリ機能 | システムリカバリ機能を利用してディスクイメージの配信を行った後、後処理を行う最中で、GetAdapInfo.exeがアプリケーションエラーを出力し、後処理が途中停止してしまう場合がある。 | プログラムを修正しました。 | <input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.5.0b以前 | なし | |
| | システムリカバリクライアントインストーラ | コンピュータ名、ドメイン名の禁則文字として「?」がチェックされていない。 | プログラムを修正しました。 | <input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.5.0b以前 | なし | |
| | 資源配付機能 | 資源配付機能でhostsファイルを配付したが、hostsファイルの内容が名前解決に使用されない。 | プログラムを修正しました。 | <input type="checkbox"/> 並+資源OP <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.5.0b以前 | なし | |
| | 資源配付機能 | 資源適用のResApply起動時、アプリケーションエラーが発生することがある。 | プログラムを修正しました。 | <input type="checkbox"/> 並+資源OP <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.5.0b以前 | なし | |
| | 資源配付機能 | 瞬快クライアントと管理機能が同居しているPCにおいて、管理機能からアプリケーション登録を実行するとマスターログ作成時に処理が失敗する。 | プログラムを修正しました。 | <input type="checkbox"/> 並+資源OP <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.5.0b以前 | なし | |

| 対応製品レベル | カテゴリ | 現象/内容 | 変更内容 | 影響範囲 | 従来製品での回避/対応方法 | 備考 |
|---------|-------------------|--|--|--|---|--|
| | 資源配付機能 | サーバ選択時、アプリケーションエラーが発生する場合があります。 | プログラムを改修しました。 | □並+資源OP □上+資源OP □特上 Rel.5.0b以前 | なし | |
| | 資源配付機能 | Managed Total Protectionインストール環境にてアプリ登録を行うと、ファイルが見つからないというエラーが発生する場合があります。 | プログラムを改修しました。 | □並+資源OP □上+資源OP □特上 Rel.5.0b以前 | なし | |
| | WindowsUpdate連携機能 | WindowsUpdate連携で、アップデートサーバ名の指定をするときに、末尾にWSUSAdminをつけた場合に警告メッセージを出すように変更しました。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0b以前 | なし | |
| | WindowsUpdate連携機能 | WindowsUpdate連携処理において、クライアントPCがパッチ適用後、修復無効モードから修復モードへ変更するタイミングでファイル置換え予約が入る場合、クライアントが修復無効モードのまま処理が中断する。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0b以前 | WindowsUpdate連携を更新モードにて実施してください。 | |
| | WindowsUpdate連携機能 | WSUS SP1をアップデートサーバに指定してWindowsUpdate連携処理を実行すると169(-2147467262)が返され、WindowsUpdate連携処理が動作しない場合があります。 | 処理ロジックを見直しました。 | ALL Rel.5.0b以前 | なし | |
| | WindowsUpdate連携機能 | WindowsUpdate連携処理を実行し、起動直後のモード変更処理でエラーが発生した場合、3時間後にタイムアウトとなる。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0b以前 | なし | |
| | リモート画面操作 | キーマウスロックでロック中のクライアントに対し、リモート画面操作機能のコンソールより特殊キー「Ctrl+Alt+Del」を送信しても反応しない。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0b | なし | |
| | コマンド | 複数環境(派生環境)において、更新モードの状態でRCHMODEの修復タイミング指定を「毎回起動時修復」以外を設定しても、モード変更後の修復タイミングが「毎回起動時修復」になってしまふ。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0b以前 複数環境(派生環境) | なし | |
| | コマンド | 修復無効モードの状態でRCHMODEの修復タイミング指定を「一日一回修復」や「毎週〇曜日修復」等の修復スケジュールの指定が反映されず、「毎回起動時修復」になってしまふ。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0b以前 ファイルフォルダ単位 Windows2000 | なし | |
| 5.0e | 機能追加 | 次のウイルス対策ソフトに対応しました。 | ・F-Secureアンチウイルス クライアントセキュリティ ver 7.0 ・McAfee VirusScan Enterprise 8.5i | ALL Rel.5.0d以前 | なし | 対応しているウイルス対策ソフトについては、瞬快のReadme.txtを参照ください。 |
| | 機能追加 | 次のソフトと瞬快クライアントの共存に対応しました。 | AutoCAD2007 | ALL Rel.5.0d以前 | なし | |
| | 機能追加 | クライアントPCのプロパティで入力できるコメント情報を管理機能のリモート操作タブ画面のクライアントリストに表示できるようにしました。 | | ALL Rel.5.0d以前 | なし | |
| | クライアント機能 | 瞬快のログオンパネルの設定機能にて、ログオン先のドメイン名を設定した環境において、ログオンパネルでCtrl+Alt+Delキーを押下し、その後ESCキーを押下し、再度Ctrl+Alt+Delキーを押下すると、ログオン先が「ドメイン」から「ローカル」に変わってしまう場合があります。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0d以前 | ログオンパネルの設定を行う前に、ドメインにログオンしてください。(一度でもドメインにログオンした後はワークグループに戻しても問題ありません。) | |
| | クライアント機能 | Launcher.exe(タスクバーの『瞬快』アイコン)のプロセスが、起動直後にCPU使用率100%になる場合があります。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0d以前 | 一度ログオフし、再度ログオンすることで回避できます。 | |
| | クライアント機能 | 修復スケジュールを「毎回起動時」以外に設定している場合に、修復無効モードに変更し、再度修復モードに変更すると、修復スケジュールが引き継がれず「毎回起動時」に設定されてしまふ。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0d以前 | 動作モード変更時に修復スケジュールを必ず設定してください。 | |
| | 瞬間復元ドライブ | 他社製ソフトウェアとの組み合わせによって、運用中に以下のブルースクリーンが発生する場合があります。 0xC0000218 0x000000C2 0x00000050 0x000000F4 0x0000008E また、OSが突然再起動したり、OS起動時に「前回OSが正常に終了していない」旨のメッセージが表示される場合があります。 | 現象を回避するロジックをプログラム内に組み込みました。 | ALL Rel.5.0d以前 | 組み合わせによって問題の発生するソフトウェアを、最新バージョンにアップするもしくはアンインストールを行うことによって回避できる場合があります。 | |
| | 瞬間復元ドライブ | 以下の条件を全て満たす場合に、ショートカットファイルをダブルクリックすると、ショートカットのファイルサイズが0バイトになり壊れてしまふ。 ・Read Only属性のショートカットである。 ・リンク先を変更できないショートカットである。 ・瞬間復元ドライブがファイルフォルダ単位修復モードである。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0d以前 | 発生条件のいずれかを除くと回避可能です。 | |
| | 瞬間復元ドライブ | システムリカバリによるWindows同士のマルチブートが構成できず、1つ目のOSがエラーとなる。 | プログラムを改修しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel.5.0d | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | cygwinにて、修復対象となっている空フォルダ内を参照したり、カレントディレクトリを移動させたりすることができない場合があります。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0d以前 | なし | |

瞬快Rel5.0系 対応内容一覧

| 対応製品レベル | カテゴリ | 現象/内容 | 変更内容 | 影響範囲 | 従来製品での回避/対応方法 | 備考 |
|---------|-------------|---|---|-------------------------------------|--|--|
| | 瞬間復元ドライブ | ファイルシステムに異常があり、瞬快が管理するテンポラリファイルが壊れた状態で、動作モードを修復モードに変更する時に失敗する場合がある。 | 軽微なファイルの異常の場合は、モードの変更ができるようにプログラムを修正しました。 | ALL Rel.5.0d以前 | CHKDSKを実行し、ファイルシステム異常を修復した後に、ドライブのルートに存在する\$*から始まるフォルダを削除してから、修復モードへの変更を行ってください。 | |
| | 瞬間復元ドライブ | PhotoshopなどのMBR更新型の認証方式をとっているソフトウェアが再アクティベーションを求められる場合がある。 | プログラムを修正しました。 | ALL Rel.5.0a～5.0d | なし | |
| | 管理機能 | 瞬快管理機能からリモートログオンするユーザまたは、瞬快管理機能起動時に間われるシステムリカバリユーザのパスワードが32文字以上の場合に、処理に失敗する場合がある。 | プログラムを修正しました。 | (1)はALL (2)は上,特上のみ Rel.5.0d以前 | パスワードの長さを32文字より短くしてください。 | |
| | システムリカバリ機能 | ディスクイメージの移動インポートを行った際、インポート処理に失敗すると、元のイメージファイルが削除されてしまい、復元できなくなる。 | プログラムを修正しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel.5.0d以前 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | クライアントPCのリモート登録機能において、複数のクライアントPCにDHCPサーバから同じIPアドレスがリースされる環境では、登録処理に失敗する。 | プログラムを修正しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel.5.0d以前 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | クライアントPCのリモート登録機能において、すでにシステムリカバリサーバに登録されているクライアント名を指定した場合、アプリケーションエラーが発生する場合がある。 | プログラムを修正しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel.5.0d以前 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | システムリカバリ管理機能を利用する際、サービスのコピーを利用して新しいサービスを作成し、そのサービスを実行しようとする時、「パラメータエラーです。」とメッセージが表示されて正しく実行できない場合がある。 | プログラムを修正しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel.5.0d以前 | コピーしたサービスを編集し、再登録してください。 | |
| | システムリカバリ機能 | システムリカバリ機能を利用して、ディスクイメージの配信を行い、固定でDNSサーバを設定すると、DNS設定のひとつである、「この接続のアドレスをDNSに登録する」の設定を無効にしても、有効となってしまう。 | 左記に示すDNS設定を、引継ぐようにプログラムを修正しました。 ※ただし、Windows XP上でSysprepを利用してイメージを展開する場合は、Sysprepにより設定が初期化され、引き継ぐことができません。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel.5.0d以前 | イメージ配信後、各クライアントPCのDNS設定を手動で変更してください。 | |
| | リモート画面操作 | 一般ユーザでログオンした時にパスワード制限付きのスクリーンセーバが起動しない場合がある。 | プログラムを修正しました。 | ALL Rel.5.0d以前 | なし | |
| | 資源配付機能 | ファイル登録画面のツリー表示にて、2バイト目が0x5Cの文字コードである全角文字を含むフォルダ配下の情報が正しく表示されない。 例:「能」「表」「ン」などの文字。 | プログラムを修正しました。 | ALL Rel.5.0d以前 | 該当する文字をフォルダ名に使用しないようにしてください。 | |
| 5.0e' | 瞬間復元ドライブ | WindowsXPに瞬快クライアントをファイルフォルダ単位修復モードでインストールした環境で次のような現象が発生する場合がある。 ・端末の操作中あるいは放置時にOSがフリーズする。 ・「システムリソースが不足しています」というメッセージが表示され、操作を続行できない。 ・ブルースクリーン(STOPコード0x00000F4など)になる。 | 現象を回避するロジックをプログラム内に組み込みました。 | ALL Rel.5.0e | Windows XP OS標準のサービスである「Help and Support」を無効にすることで回避可能です。 | Windows2000では、この現象は発生しません。 |
| 5.0f | ウイルス対策ソフト連携 | 機能追加。 | 以下のウイルス対策ソフトに対応しました。 ・Symantec Endpoint Protection11.0 ・F-Secureアンチウイルス クライアントセキュリティ ver 7.1 | ALL Rel.5.0e' 以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | ファイルフォルダ単位の修復モード時に、ドライブのボリュームラベルを変更しようとする時、権限が無い旨のメッセージが表示され変更できない。 | プログラムを修正しました。 | ALL Rel.5.0e' 以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | Xythos社のXythosDriveでマウントしたドライブに対して、Microsoft Wordにて直接文書の保存しようとする時、アクセス権のエラーにより保存ができない場合がある。 | プログラムを修正しました。 | ALL Rel.5.0e' 以前 | XythosDriveへ直接保存せず、ローカルのドライブに文書の保存を行った後、XythosDriveへのコピーを行ってください。 | |
| | 瞬間復元ドライブ | NVIDIA社のnForceのマザーボードを搭載するPCに瞬快をインストールすると、瞬間復元ドライブが動作せず、瞬快のスパナアイコンが赤色で表示される。 | 現象を回避するロジックをプログラム内に組み込みました。 | ALL Rel.5.0e' 以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | 瞬快が修復モードの状態でもAdobe Photoshop Elementsを起動させようとする時、「アートワークエフェクトを構築しています」と表示され、起動が完了するまでに数分を要する場合がある。 | アートワークエフェクトが再構築される現象を回避するロジックをプログラム内に組み込みました。 | ALL Rel.5.0e' 以前 | Adobe Photoshop Elementsの起動に数分を要する場合がありますが、起動後は通常通り使用できます。 | 「アートワークエフェクトを構築しています」のメッセージが表示された場合に、キャンセルボタンを押すとPhotoshop Elementsが使用できません。 |
| | リモート画面操作機能 | リモート画面操作機能を使ってクライアントPCをモニタリング中に、キーボードで日本語入力を行うと正しく入力されない場合がある。 | プログラムを修正しました。 | ALL Rel.5.0e' 以前 | クライアントPCのIMEがMicrosoft IME 2000の場合のみに現象が発生することを確認しています。IMEを新しい製品へバージョンアップしてください。 | |

| 対応製品レベル | カテゴリ | 現象/内容 | 変更内容 | 影響範囲 | 従来製品での回避/対応方法 | 備考 |
|---------|--------------|--|---|--|---|----|
| | システムリカバリ機能 | システムリカバリで作成するリソースの名前に全角の以下の文字が含まれると、システムリカバリ管理機能上にそのリソース名が表示されない。 “#”:シャープ “[”:大カッコ(始) “]”:大カッコ(終) | これらの文字を使用できないようにプログラムを改修しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel.5.0e'以前 | 該当する文字をリソースの名前に使用しないでください。 | |
| | システムリカバリ機能 | クライアントからのイメージ取得機能でシステムリカバリユーザを指定する際、ドメインユーザの指定ができない。 | “ドメイン名¥ユーザ名”のフォーマットで指定できるようにプログラムを改修しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel.5.0e'以前 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | netdom.exeを利用したドメイン参加において、ドメイン名、ユーザ名、パスワードに半角の以下の文字を指定すると処理が失敗する。 “&”:アンパサンド “%”:べき乗記号、ハット記号 | これらの文字を使用できないようにプログラムを改修しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel.5.0e'以前 | 該当する文字をドメイン名、ユーザ名、パスワードに使用しないでください。 | |
| | システムリカバリ機能 | サービス名に半角スペースを含むサービスをコピーすることができない。 | プログラムを改修しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel.5.0e'以前 | サービス名に半角スペースを使用しないでください。 | |
| 5.0g | 瞬間復元ドライブ | 復元タイプをファイルフォルダ単位の設定で瞬快クライアントをインストールすると、Windowsへのログオン直後に黒い画面で処理が止まってしまい現象が、一部の環境においてまれに発生する可能性がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0f以前 | なし | |
| 5.0i | 瞬間復元ドライブ | シンボリックリンクとして作成したフォルダにファイルの新規作成や、ファイルのコピーができない。 | プログラムを改修しました。 | ALL ファイルフォルダ 単位修復モード Rel5.0g以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | 一般ユーザにてログオン時、LhaPlusにて圧縮に失敗し、さらに圧縮元のファイルが消える場合がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL 一般ユーザにて 使用時 Rel5.0g以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | マウントポイントの作成を行い、マウントされたフォルダを開くと0x7fのブルースクリーンが発生する可能性がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL ファイルフォルダ 単位修復モード Rel5.0g以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | NTFS上にマウントポイントが設定されている場合に、ファイルフォルダ単位修復モードに切り替えることができない。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0g以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | ファイルフォルダ単位修復モードにおいて、ソフトオンネットジャパン社ZStreamを起動しログアウトすると、C:\Program Files フォルダが消えてしまう。 | プログラムを改修しました。 | ALL ファイルフォルダ 単位修復モード Rel5.0g以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | 瞬快クライアントをインストールすると、パス名の長さが260バイト以上となるファイルフォルダを使用できない。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0g以前 | 復元タイプをパーテーション単位に設定して運用してください。 | |
| | クライアントインストーラ | クライアントインストーラの変更インストールでリモート画面操作機能のポート番号を変更しても実行後、ポート番号が更新されず。 | プログラムを改修しました。 | All Rel5.0g以前 | なし | |
| | クライアント | 瞬快クライアントをインストールし、環境設定画面から修復モードに切り替えようとOKボタンを押すと、「環境設定に失敗しました」のメッセージが表示されて、修復モードに出来ない場合がある。 | プログラムを改修しました。 | All Rel5.0g以前 | なし | |
| | クライアント | WindowsXPクライアントにおいて、Ginaが置き換わっている環境に瞬快をインストールし、修復無効モードにてGinaを置き換えたソフトをアンインストールした後に、瞬快をアンインストールするとOSが起動しなくなる。 | プログラムを改修しました。 | All クライアントOSが WindowsXP/Windows 2000 Rel5.0g以前 | Ginaを置き換えたソフトをアンインストールする前に瞬快クライアントをアンインストールしてください。 | |
| | クライアント | 環境設定画面内の修復対象設定のフォルダツリーで選択したフォルダに対して、エクスプローラ上で削除、名前の変更をすることができない。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0g以前 | タスクトレイアイコン (Launcher.exe)を終了させてください。 | |
| | 管理機能 | 更新モードのクライアントへウイルス対策ソフトをインストールし、管理機能のメニューから「修復ポイントの設定」を実行した場合、ウイルスパターンが最新状態が保持されない。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0g以前 | 管理機能で環境設定画面を開き、「修復ポイントの設定」ラジオボタンを選択してOKボタンを押していただく。 | |
| | 管理機能 | DHCPのリース期間が短い環境に瞬快を導入すると、瞬快管理機能が誤ったクライアントPCから情報を取得し、同じMACアドレスを持つPCが管理機能上に複数存在してしまう場合がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0g以前 | DHCPのリース期間を長く設定してください。 | |
| | 管理機能 | ドメインユーザで、パスワードなしのユーザアカウントで管理機能からリモートログオンしようとする、管理機能側では正常終了するが、クライアント側では「Incorrect password or username」と表示されてログインできない。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0g以前 | ドメインユーザにはパスワードを設定してください。 | |
| | 管理機能 | 管理機能からインポートを行ったCSV内に、マルチブートグループが含まれている場合、次のような現象が発生する。 (1)「マルチブートグループヘコビー」を実行すると、すでにコピー済みのクライアントを二重にコピーしてしまう。 (2)プライマリグループ内のクライアントを、移動や削除した場合に、サブグループ内のクライアントが運動せずに残ってしまう。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0g以前 | なし | |

瞬快Rel5.0系 対応内容一覧

| 対応製品レベル | カテゴリ | 現象/内容 | 変更内容 | 影響範囲 | 従来製品での回避/対応方法 | 備考 |
|---------|-----------------|---|---|-----------------------------------|--|----|
| | リモート画面操作機能 | クライアントへキーマウスのロック指示を出した状態において、ロックされているクライアントPC上でCtrl+Alt+Deleteを押すと、その後ロックを解除してもクライアントPC上でキー入力を受け付けなくなる場合がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0g以前 | なし | |
| | システムリカバリ | クライアントPCからのイメージ取得でシステムリカバリサーバに接続するときに表示される、システムリカバリユーザのアカウント名とパスワードを入力する画面のパスワードを入力するテキストボックスに入力可能な最大文字数が短いため、長いパスワードが指定できない。 | プログラムを改修しました。(最大入力文字) | □上 □上+資源OP □特上 Rel5.0g以前 | システムリカバリユーザのパスワードの長さを14バイト以内に設定してください。 | |
| | システムリカバリ | 瞬快クライアントとシステムリカバリクライアントが共存した環境において、ブルースクリーン(0x93)が発生する場合がある。 | プログラムを改修しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel5.0g以前 | なし | |
| | その他 | サイレントインストール定義ファイル作成ツールにてクライアントの環境設定画面の内容が出力した定義ファイルに反映されていない。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0g以前 | なし | |
| 5.0j | ウイルス対策ソフト連携 | 機能追加。 | 以下のウイルス対策ソフトに対応しました。 ・McAfee VirusScan Enterprise 8.7i ・F-Secure アンチウイルス クライアントセキュリティ 8.0 | ALL Rel5.0i以前 | | |
| | 瞬間復元ドライブ | Seagate社製(ST380815AS、ST3160815AS)かつ、ファームウェアが4.CGAのハードディスクを搭載したPCで、瞬快にて修復ポイントの設定を行うと、処理が停止してしまう場合がある。 | 修復ポイントの設定時のハードディスクの書き込み処理において、想定値以上の時間を要する場合があったため、書き込みタイミングを見直し、問題を回避しました。 | ALL Rel5.0i以前 | クライアントPCの環境変更は、修復無効モードに変更してから実施してください。(更新モードを使用しないでください) | |
| | 瞬間復元ドライブ | ファイルシステムに異常がある場合に表示される「ファイルシステムに異常があります。修復無効モードに変更するもしくは、本製品をアンインストールしてから緊急チェックディスクをしてください。」のメッセージが、ファイルシステムの異常を修復した後も表示される場合がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0i以前 | 「\$scrapp\$@&」という名前のフォルダが、各ドライブのルートに存在すれば、削除を行ってください。 | |
| | 瞬間復元ドライブ | レジストリのパスの長さが260バイトを超える場合において、Windowsのシャットダウン直前に、0x19のSTOPエラーが発生する場合がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0i以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | 画像を大量に貼り付けてあるパワーポイントのスライドを、瞬快クライアントがインストールされた環境で開くと、リソース不足が発生し、スライドショーが正常に実行できなくなる場合がある。 | 特殊なファイルオープンにおけるメモリ使用のチューニングを行いました。 | ALL Rel5.0i以前 | なし | |
| | クライアント機能 | 修復無効モードであるにもかかわらず、タスクトレイに表示される瞬快のスパナアイコンが青色になる場合がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0i以前 | 一度Windowsからログオフして、再度ログインしてください | |
| | リモート画面操作機能 | 画面の解像度が高い(1280x800以上)クライアントPCに対して、リモート画面操作機能で接続を行うと、クライアントPC側で「Remote Display Service SessionStartは動作しなくなったため、閉じられました」とエラーメッセージが表示され、接続できなくなる場合がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0i以前 | 接続時にエラーメッセージが表示されなくなるまで、クライアントPCの画面の解像度を下げてください。 | |
| | WindowsUpdate連携 | WindowsUpdate連携の実行結果ログに表示されるWUAPIのエラーコードは10進数で表記していたが、マイクロソフト社などのホームページには16進数で表記されているので、エラー発生時の原因調査がしづらい。 | 実行結果ログにはWUAPIのエラーコードを16進数と10進数の両方で表記するように改修しました。 | ALL Rel5.0i以前 | なし | |
| 5.0k | 瞬間復元ドライブ | 瞬快クライアントをファイルフォルダの修復モードで動作させている場合に、ジャパンメディアシステム株式会社のWeb会議システムLiveOnを使用すると、ActiveXコントロールのインストールに失敗してしまう。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0j以前 | 「C:\WINDOWS\Downloaded Program Files」を対象外にすることで回避できます。 | |
| | 瞬間復元ドライブ | ファイルシステムの異常を検知する機能において、異常ではない場合に異常と誤検知する場合があった。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0j以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | 瞬快クライアントをファイルフォルダの修復モードでインストールしている場合に、InternetExplorer6でファイルのダウンロードに失敗する場合がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0j以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | 瞬快クライアントをファイルフォルダの修復モードでインストールしている場合に、ファイルの作成と削除を数万回以上繰り返すと、次回OS再起動直後のディスクアクセスが多くなり、一定時間フリーズしたような状態になる場合がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0j以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | 瞬快をファイルフォルダの修復モードでインストールした環境で、PCが突然フリーズする場合がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0j以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | 瞬快をファイルフォルダの修復モードでインストールした環境で、0x0000007BのSTOPエラーが発生する場合がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0j以前 | なし | |
| | Updateキャッチャー | Updateキャッチャーの画面が文字化けしてしまう場合がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0j以前 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | システムリカバリ機能で、NETDOMコマンドを使用したドメイン参加を行う場合に、パスワードに「:」(コロン)を使用すると、エラー(コード87のバレータミス)になる。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0j以前 | なし | |

瞬快Rel5.0系 対応内容一覧

| 対応製品レベル | カテゴリ | 現象/内容 | 変更内容 | 影響範囲 | 従来製品での回避/対応方法 | 備考 |
|---------|-----------------|---|--|------------------------------------|--|----|
| | システムリカバリ機能 | 複数のLANカードが搭載されているPCにシステムリカバリサーバをインストールして、イメージ取得や配信を行うと失敗する場合があります。 | プログラムを改修しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel5.0j以前 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | システムリカバリ機能でイメージ配信またはWindows環境の設定のサービスを実行した場合、「異なるOSからのリクエストが発行されました」というエラーが発生し、処理が止まる場合があります。 | プログラムを改修しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel5.0j以前 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | 富士通製のFMV-D5370iに対しイメージ配信を行った場合、配信途中で処理が停止し、ピープ音が鳴る場合があります。 | プログラムを改修しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel5.0j以前 | なし | |
| | その他 | 瞬快クライアントがインストールされたPCのファイルシステム異常を検知したときの動作を変更しました。 | PCの強制シャットダウンなどが原因でファイルシステムの異常を検知した場合、これまでは警告メッセージを表示するとともに、タスクトレイのスパナアイコンを赤色にしていますが、警告メッセージの表示のみとしました。 | ALL Rel5.0j以前 | なし | |
| 5.0m | ウイルス対策ソフト連携 | 機能追加 | ウイルスバスターコーポレートエディション10.0に対応しました | ALL Rel.5.0k以前 | Rel.5.0kでも連携可能ですが、スマートスキャン方式のパターンファイルのバージョンが取得できません。 | |
| | システムリカバリ | 機能追加 | 企業向けノートPC「FMV-LIFEBOOK」および、デスクトップPC「FMV-ESPRIMO」の2009年下期モデルに対応しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel.5.0k以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | 修復対象外設定と同じ名前のファイル名とフォルダ名を指定すると修復対象外を誤認識する場合があります。 例:以下のように同じ名前のファイルとフォルダを修復対象外に設定する場合。 C:\YDATA ←ファイルの対象外 C:\YDATA\ ←フォルダの対象外 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0k以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | 復元タイプがファイル・フォルダ単位の修復モードで、Microsoft Office 2007 ProfessionalのInfoPathを使ってテンプレートファイルを開くと、「ファイルが開けません」の旨のメッセージが表示されたテンプレートファイルが開けない場合があります。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0k以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | 復元タイプがファイル・フォルダ単位で動作モードが修復モードの場合に、次のブルースクリーンが発生する場合があります。 0x00000050 0x0000008e | 現象を回避するログをプログラム内に組み込みました。 | ALL Rel.5.0k以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | Windows同士のマルチブート環境を構築し、瞬快クライアントをファイル・フォルダ単位の修復モードでインストールすると、瞬間復元が行われない場合があります。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0k以前 | なし | |
| | WindowsUpdate連携 | DNSやWINS等の名前解決環境がなく、ブロードキャストにおいてのみ名前解決が可能で、ネットワーククライアントの使用するIPアドレスが頻繁に変更されるようなネットワーク環境において、Windows Update連携を実施すると、クライアントPCの電源状態確認処理に失敗し正常に動作しない場合があります。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel.5.0k以前 | DHCPのリース期間を長く設定してください。 | |
| 5.0p | 瞬間復元ドライブ | インテル社のAtomプロセッサを搭載したPCに瞬快をバージョン単位の修復モードでインストールすると、OSの起動前に黒い画面で数十秒から1分程度待たされる現象が発生する。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0m以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | 瞬快をファイルフォルダ単位の修復モードでインストールすると、Cygwinが正常に動作しない場合があります。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0m以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | 瞬快クライアントをファイルフォルダの修復モードでインストールした場合、PCのシャットダウン時に0x7eのブルースクリーンが発生する場合があります。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0m以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | 瞬快クライアントをファイルフォルダ単位の修復モードでインストールした場合、DisplayLink社のドライバを使用したUSBディスプレイアダプタが正常に動作しない場合があります。 【製品例】 ・IO-DATA製 USB-RGB/D2 ・パツテオ製 GX-DVI/L2 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0m以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | 瞬快クライアントをファイルフォルダ単位の修復モードでインストールしたPCから、別のPCで共有されているフォルダ内のファイルが変名できない場合があります。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0m以前 | なし | |
| | クライアント機能 | 瞬快クライアントをインストールしたPCをシャットダウンするタイミングで、RMNTCLS.EXEがアプリケーションエラーを出す場合があります。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0m以前 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | システムリカバリ機能でFMV-D5390のディスクイメージ取得/配信ができない。 | FMV-D5390用のLANドライバを製品に組み込みました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel5.0m以前 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | システムリカバリにて、ディスクイメージ配信を行う場合に、DNSを自動取得する設定で配信を行っても固定の設定となってしまう場合があります。 | プログラムを改修しました。 | □上 □上+資源OP □特上 Rel5.0m以前 | システムリカバリ管理機能で、ディスクイメージ配信をする対象PCのプロパティ画面を開きOKボタンを押せば発生しません。 | |

瞬快Rel5.0系 対応内容一覧

| 対応製品レベル | カテゴリ | 現象/内容 | 変更内容 | 影響範囲 | 従来製品での回避/対応方法 | 備考 |
|---------|-----------------|---|--------------------|---|---|----|
| | WindowsUpdate連携 | Windows Update連携を実行するクライアントPCにおいて、Automatic UpdatesサービスまたはWindows Updatesサービスの起動に20秒以上の時間を要する環境の場合にエラーが発生し、WindowsUpdate連携の処理が失敗する場合がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0m以前 | なし | |
| 5.0r | 瞬間復元ドライブ | 復元タイプがファイル・フォルダ単位で動作モードが修復モードの場合に、Symantec Endpoint Protectionがインストールされている環境において、次のブルースクリーンが発生する場合がある。 0x00000050 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0p以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | 復元タイプがファイル・フォルダ単位で動作モードが修復モードの場合に、OS起動時に次のブルースクリーンが発生する場合がある。 0x00000050 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0p以前 | なし | |
| | システムリカバリ機能 | 管理機能からシステムリカバリサーバに接続する際の認証画面で入力可能なユーザ名、パスワードの文字数を次の通り拡張しました。 ・ユーザ名 :15文字 → 256文字 ・パスワード :14文字 → 128文字 | プログラムを改修しました。 | <input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel5.0p以前 | なし | |
| | WindowsUpdate連携 | WindowsUpdate Client のアップデートを伴う場合、パッチ適用フェーズに入ったところで、一目的のパッチが適用される前に「強制キャンセル」指示を行うと、「更新プログラムを構成しています (1/3)」のメッセージ表示にてコンピュータの再起動を繰り返す場合がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0p以前 | なし | |
| | WindowsUpdate連携 | スケジュール作成画面で表示されるWindowsUpdate連携に関する注意事項が文字化けを起こす場合がある。 | HTMLドキュメントを改修しました。 | ALL Rel5.0p以前 | マイクロソフト社のInternet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム(2010年12月公開)を適用しない。 | |
| 5.0s | 瞬間復元ドライブ | 瞬快クライアントの復元タイプがファイルフォルダ単位、動作モードが修復モードにてインストールされたPCにおいて、次のブルースクリーンが発生する場合がある。 0x0000000a | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0r以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | 瞬快クライアントの復元タイプがファイルフォルダ単位、動作モードが修復モードの状態において、プロファイルが初めて作成されるユーザでログインし、Adobe Flash Catalyst CS5を起動しようとする、エラーが発生し起動に失敗する場合がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0r以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | 瞬快クライアントの復元タイプがファイルフォルダ単位、動作モードが修復モードでインストールされたPCで、Symantec Endpoint Protection 11.0でスキャンを行うとディスクの使用量が增大する場合がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0r以前 | なし | |
| | 瞬間復元ドライブ | 瞬快クライアントの復元タイプがファイルフォルダ単位、動作モードが修復モードでインストールされたPCで、「ファイルシステムの異常を検知しました」のエラーメッセージが表示される場合がある。 | プログラムを改修しました。 | ALL Rel5.0r以前 | なし | |